

2月例会のご案内

普段余り聞く機会がなかったエピソード、会との関わりについてざっくばらんに話を拾って行って若い世代に維(つなぐ)指針になればと思っています。是非たくさんの会員の皆様の参加をお待ちしております。

【主なテーマ(予定)】

- ・他団体所属者から見た中央会・トライアスロン裏話
- ・仕事との両立の苦労話
- ・今ホットな事業推進者 etc

聞いてごしない Part 13

コモエスタセニョール、コモエスタセニョリータ、...という歌詞を耳にされた会員の方もおられると思います。勿論、ご存知の通りスペイン語で始まる日本の歌謡曲です。当時私は、意味も理解することなくメロディーにのせて発音してただけなのですが、今思えばそれが私の記憶するところでは最初のスペイン語との出会いかもしれません。この国では、現在スペイン語を使った固有名称が意外にも多いことに気が付きました。例えば、「ディアマンテ」「セレッソ」「メルカド」「ビスタ」「リオ」「カフェ」など、本当にたくさんのスペイン語が使われています。私はこんなに身近にこの言語があることに、ある種の期待と不安を抱くようになったのも恥ずかしながら最近になってからです。というより気にも止めなかったと言った方がいいのかもしれない。この言語のもつ快い響きと、日本語にもよく似た発音、そしてなんと言ってもそれぞれの単語の意味を将来の夢に託して命名されたであろうことは、何らかの形でその言語圏に興味があり触れられていることなので、結構多くの日本人が、いや、米子の人々がおられるということはとても素敵な事であり、大切な事であると思います。異なった国の言語に触れることはその国の文化を学ぶ事にもなっている。と同時に、意味もなく言葉の遊びだけで使うことが、多くなっていることに対して不安に思うのです。外国語なんか特に格好良く見えるし、聞こえるし。日本語でさえも今は当て字という言葉が適当なのかどうか分かりませんが、意味と無関係にしかも、意図的に使われている。どんなに立派な辞書も通用しない形に化けてである。それを造った大人の責任であり、それを聞きながし何も感じなくなってしまう大人(=社会)の責任ではないだろうか。最近、若者の間で使われている新言葉はどうなっていくのだろうか。

話はがらっと変わりますが、私たちは一般的には中学校で英語という言葉習い始め、私自身で申し上げれば、6年間も机の上で受験英語と呼ばれる文法のルールばかりを習っていて、というより暗記術の訓練をしていて、大学においてもさらに2年間も英語の授業に出て合計8年間の英語にかかわったという経歴があります。にもかかわらず、いいえ、それだからこそ全く聞きとりが出来ず英会話なんか及びではありません。洋画を観ても日本語版です。でも格好つけて時々横文字を並べてみます。本当に情けない。私は最近2年間に大きな経験をしました。その経験を無駄にしないためにも、現在スペイン語の勉強を続けるようにしています。今更受験勉強でもないのですが何事にもチャレンジだと思ひ、文部省認定西語検定に挑戦してみました。結果は桜咲くでした。英・仏・中・露語と共に西語(=スペイン語)は国連の公用語になっており、スペイン語が国語の国は185ヶ国中20ヶ国もあり、世界におけるスペイン語人口は約4億人にも達するそうです。どなたか教えていただける方がいましたら宜敷くお願い致します。アディオス!

◀ Mucho gusto: Me llamo santa ▶

2月例会は昨年度の記念事業FV分科会、OB交流会の流れを受け当委員会のテーマである「中央会の将来像を考える」をもとに現役会員に中央会の魅力について多めに語り合ってもらおうと思っています。



時：2月15日 場所：わこう
主催：2020グランドデザイン委員会

2月例会案内

と き 平成12年2月15日(火)
と ころ ホテルわこう
内 容 上記4面に掲載
担 当 2020グランドデザイン委員会

2月役員会報告

2月定例役員会が平成12年2月1日(火)、米子食品会館に於て開催された。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 2、3月例会開催の件
- (2) 次年度会長・県会長推薦の件
- (3) 新入会員承認の件
- (4) その他

※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

編集後記

1999年が終わる頃、ゴルフに目覚めた。年始に人生2度目のコース。「因縁のコースにリベンジ!」とはりきったものの、さすがにハーフで100はたたかなかった。3度目はあいにく雪に邪魔されたが、今月号がでる頃にはもう1度プレイしている予定である。久しぶりの山陰の冬、雪のあとには連日の雨で、練習場に向かう意欲が萎えてくる週間天気予報でも「週末にかけてまた雪になる」とのこと。日本海側にいることを再認識させられる反面、意識はスキー場のコンディションへと向かい、心が踊る…。世紀末にゴルフの腕を磨き、21世紀には一人前の仲間入りをしたいと願いつつも、練習場に向かう足は億劫な今日のごろである。

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 堀田収 編集責任者 小林慎一 印刷所 東京印刷製

1月例会報告

平成12年1月17日(月)ホテルサンルート米子に於いて1月例会が開催された。挨拶では堀田会長は「残り半期で今期の位置づけができるようにまとめていくように」と述べられ、続いて新入会員3名にバッジの授与が行われた。

委員会タイムでは、地域ビジョン委員会の中島会員が、4月から始まる「介護保険制度」について解説を行った。中島会員は、「高齢者の尊厳を守り女性の社会参加を前進させる」と制度の意義を示した後、40歳以上は全て被保険者となること、年齢区分に応じた保険料負担があること、また、認定によって受けられるサービスが異なることなどを説明、最後に「高齢者対策や成人病対策など自己責任においてクリアしていかなければならない時代のスタートとなる。」と介護保険制度を大きな転換点とした。

続いて「地域ぐるみで取組む観光の姿～一人ひとりがはじめる地域観光～」と題して、社団法人松江観光協会観光プロデューサー、永井努氏にご講演いただいた。多様化する観光に対して、地域ぐるみで取り組み、住民一人ひとりが観光客をおもてなしすることが大切であり、それが地域の経済、そして生活や文化的な面にも大きなプラスをもたらすことを示された。以下は講演の要旨である。



- 人々は余暇にやりたいことを踏み込んでやるようになり、目的の多様化に対応した観光が求められている。観光の領域は拡大しており、これまでの観光の意識を変え、もっと広い業種で観光を据え直す必要がある。
- 観光には経済的な大きな役割がある。また、観光客によって住民ではなかなか気づかない地域の価値を見出すことができ、それを磨き上げることで町づくりに活かせるなど、観光には地域の生活や文化に果す役割もある。それらが地域で観光に取り組む理由である。

○地域の視点に立った観光が大切。自分のところだけ良ければという考えを止め、地域全体の観光の満足度を高める。また、広域観光の取り組み、例えば共同のイベントや研修による観光の意識改革も必要。行政でも垣根を越えた取り組みが行われている。(現在の松江、米子、境港の観光協会での共同の取り組みは、昨年の2020グランドデザイン委員会での話し合いが実ったもの。)

○一人ひとりのおもてなしがこれからの観光には大切。どのようにおもてなしをするのか、表現するのか。松江では観光ボランティアの充実や実践のためのシンポジウム、アンケートなどにも取り組んでいる。

講演終了後の質疑では、会場から島根東部と鳥取西部との観光における連携の可能性が問われ、実際の取り組みの難しさも窺われた。最後に浜田担当副会長が、自分自身もおもてなしを実践する決意を込めた謝辞で講演会を締めくくり閉会となった。

台湾大地震へ義援金贈る

さる1月17日(月)に新日本海新聞社西部本社において、12月忘年例会での台湾震災復興大オークションの収益金、25周年記念OB交流ゴルフコンペの義援金他457,804円を贈呈した。

折りしも、当日は5年前の阪神淡路地震の日に当たり、新聞社より、あたたかく迎えていただき、新聞社を代表して、岡田春次氏へ当会堀田会長より門脇副会長同席で手渡された。この義援金は、日本赤十字社を通じて、台湾へ贈られる。



台湾大地震 義援金
【西部本社】鳥取県西部中小企業青年中央会(米子市)四十五万七千八百四十四円
日本海新聞平成12年1月18日(火)掲載記事

恒例 厄落しの会

1月16日(日)今年も恒例の西部青年中央会厄落しの会が開催された。今年の対象は、前厄、本厄、後厄、厄明け御礼参りの昭和32年～昭和35年生まれの会員60名で、うち23名が神事に参加し、来られなかった人を含め25名が御祓いをしてもらった。午後12時から勝田神社で厳粛に神事がとり行われた。各年代ごとに名前が読み上げられ、御祓い後、代表して浜田一徳会員が玉串を奉納し祈願を終えた。この後場所を岩崎館に移し、懇親会が行われた。今年も恒例の厄落しの会幹事、後藤(秀)・岩崎(俊)両会員の進行のもと、神社より頂いた御神酒で堀田会長より、「厄年を飛躍の年にしましょう」との言葉にて乾杯をし、会が始まった。岩崎館の美味しい料理を頂きながら和やかに歓談が進んだところで足立(耕)会員の司会で、余興を交えてゲームをしたり楽しく時を過ごした。その後、来年の厄落しの会幹事をされる石指・徳中両会員が来年の抱負を語られ、最後に小林副会長の音頭で残り半期に向けて今年の活躍を誓い乾杯で閉会となった。



各々が親睦を深め、またゲームに興じたりと、しっかり厄落してきた事と思う。厄年は社会的、肉体的な人生の節目の年令、この機会に健康の総点検をしてみるのもいいし、たまにはゆっくりと家族で温泉にでも行って体を休めてみてはいかがですか。私も今年はあまり飲み過ぎない様、健康に留意し仕事にそして中央会活動に取り組んで行きたいと思う。最後に神事から懇親会までお世話をして頂いた後藤、岩崎両会員、本当に御苦勞様でした。来年対象になれる会員の方は、是非この会に参加してみてください。きっと御利益があると思いますよ。

海外視察先よりエアメール —フィリピンより企業進出の依頼—

平成10年度鳥取県中小企業青年中央会アセアン視察訪問先のフィリピンより宮廻直前会長(当時会長)のもとに手紙が届いた。当時、ジェットロ職員として視察団に「マニラへの企業進出」と題して、講演をいただいた二瓶正展氏からであり、現在、二瓶氏は、ジェットロの契約完了後、丸紅と合弁の現地企業「アルカンタラ・グループ」で工業団地開発の誘致担当として活躍中である。「現在、フィリピン最大の「リマ・ランド工業団地」開発にあたり、産業視察団での縁もあり、青年中央会メンバーの中にフィリピン進出に興味を持つ企業を紹介していただきたい」との内容であった。興味のある会員はご連絡下さい。

連絡先/TEL Nos. 845-3864/5
FAX No. 845-2064

※尚 詳細につきましては宮廻直前会長までお問い合わせ下さい。

ALSONS PROPERTIES CORPORATION
(A member of the Alcantara Group of Companies)
Unit 4A, Multinational Bancorporation Centre,
6800 Ayala Avenue, Makati City, Philippines
Tel Nos. 815-2616/5 Fax No. 815-2064
1999年12月17日
鳥取県西部中小企業青年中央会
会長 宮廻直前

前略 私は1999年10月30日までジェットロの海外投資アドバイザーとしてマニラに駐在し、日本企業、特に中小企業の皆様がフィリピンに会社や工場を設立されるお手伝いをして参りました。ジェットロとの3年契約が完了した後、現地の財源企業の一つであるアルカンタラ・グループで働くことになり、引き続きマニラに駐在しております。アルカンタラ・グループとは、私が1967年に初めてフィリピンに駐在した時からのお付き合いがかなり長く、商標、学校、ホテル、病院、住宅も併せて『産業都市』構想を目ざしているのが最大の特徴です。最近何が最大の特徴かというと、生産手段を海外に移転したいと望んでおられる企業も増えてきています。生産手段を海外に移転したいと望む企業は、私も三十数年にわたってフィリピンに携わってきましたので、フィリピンについてのご質問などございましたらお気軽に電話・ファックスにお寄せください。よろしくお願い申し上げます。

二瓶正展 (Masanobu Niho)
Marketing Advisor

広報からのお知らせ

「ホームページを教えてください！」

西部青年中央会ホームページに「リンク」というページがあります。今回は「リンク」のおはなしです。ホームページを開発してしばらくすると、「アクセス数が増えない」などいくつかの不満が出てきます。ホームページを開発したものの、訪れる人も少なく、本来もっと活用できているはずのホームページが「ただ、出ている状態」で、放って置かれてしまうことがあります。ホームページは「見てもらうこと」が前提ですが、さらにその前に「目にとまること」が実はもっとも重要な要素になります。株価1億円で話題のYahooやgooなどの「検索エンジン」への登録はホームページ開設後の重要な、最初にすべき手続きです。

アクセスアップの方法としてもう一つ、「リンク」があげられます。ホームページ同士をつなぐことです。リンクによるアクセスアップの効果に疑問を抱く人もいらっしゃいますが、名前の露出度が低いとアクセスアップにはつながりません。いろんな所に、リンクが張ってあれば、そこを経由してたどり着いてくれる確率が高くなります。ここでいうリンクとは、正確には「リンクしてもらおう」ということです。リンクしてもらっていると、片一方のページを見た人が、相手のページの存在に気づいてくれます。内容に関連のあるサイトなら、リンク先の情報も見たいと思うのが人情です。

現在、中央会ホームページには会員と会社を紹介するページがありますが、それとは別に西部青年中央会に関連する団体・企業・個人も含め「リンク集」を設けています。広報委員会では、アクセスアップの一助になれば、OB・現役の別なく、広いリンク先を求めています。自社また個人でホームページをお持ちのかたは、是非広報委員会までご連絡いただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

(広報委員会インターネット班)

1月度委員会報告

マネージメント委員会

平成12年1月12日(水) 於:米子食品会館 出席者/9名
内容/ 選挙運動と推薦状の件について議論し、会員各々の意見を出し合った
・3月担当例会について打合せ
・役割分担
・講師先生について
・タイムスケジュールについて
各種行事の出席率向上と担当例会の成功を誓いあった。

ビジネス委員会

平成12年1月12日(水) 於:米子食品会館 出席者/8名
内容/ 今月の委員会は、元Jリーガー塚野真樹氏に講演をしていただいた。
塚野氏は現在「JOYFOOTよなご」の代表を努められ、少年サッカーの指導にあたられている。スポーツとビジネス、クラブ運営の理念等Jリーグ時代の経験談を交え熱く語っていただき、私たちの仕事、従業員教育にも通ずることも多く有意義なものであった。2次会以降も少年スポーツ、スポーツビジネスについて語り合い大いに盛り上がった。

政治行政委員会

平成12年1月14日(金) 於:米子食品会館 出席者/10名
内容/ 我委員会は以下の議案について委員会を行った。
選挙に対する中央会の対応としてどの様にするのが良いか我委員会の意見をまとめた。
・後半期の委員会活動予定打合せ。
・家族例会打合せ
・厄落としての会打合せ
特に選挙への対応については活発な意見の交換が出来た。

げんこつ委員会

平成12年1月12日(水) 於:DAY LOUNGE 夢 出席者/8名
内容/ 今後の委員会活動及び選挙立候補者推薦状について討議を新年会を兼ねて実施した。
出席率の低迷に苦慮している。

地域ビジョン委員会

平成12年1月13日(木) 於:米子食品会館 出席者/8名
内容/ 選挙のとり組みについての議論

1月担当例会の最終打合

21 地球委員会
平成12年1月11日(火) 於:岩崎館 出席者/10名
内容/ 地球温暖化防止の提言について検討した。今まで半年間勉強してきた事をもとに、さまざまな影響を及ぼす温暖化に対して、私達の委員会で何か出来る事はないかと意見交換した結果、ホームページを作成し、インターネットを通じて、温暖化防止を提言する。ケナフという二酸化炭素を大量に吸収する植物の種子を配付し、育ててもらおう等、残り半年間の委員会活動の中で形に残せるような物を作りたいという意見にまとまり、今後のスケジュールについて打合わせた。

2020 グランドデザイン委員会

平成12年1月14日(金) 於:東亜青果2F会議室 出席者/10名
内容/ 新入会員のリクルートについて
・選挙推薦状について各々賛否意見を述べた
・2月担当例会について 時間配分、担当の確認
2000年の例会・委員会の出席率向上を誓い合った。

広報委員会

平成12年1月11日(火) 於:米子食品会館 出席者/13名
内容/ 有限会社ミトクハーネスの長谷川貴久会員が配属され、今回から広報委員会は16名となった。
・選挙運動と推薦状の件については、会員同士の真摯な意見交換がなされた。その結果、広報委員会の総意として、「明文化された堀田会長案は大いに尊重する。それを踏まえたと、新入会員勧誘の段階で推薦者となりうる会員が当会の政治に対するスタンスを十分説明しなければならぬ。」ことを確認した。
・ハンサム2月号の編集
・下期の活動内容の確認

総務委員会

平成12年1月12日(水) 於:ホールサムイン皆生 出席者/13名
内容/ 新入会員桑本氏の紹介および挨拶
・半期をふりかえって
・新入会員研修について(必ず行う事)
・選挙の取りくみについて
・研修旅行先について
その後桑本氏の歓迎会をかねて2次会を行った。

コピーをして名簿にお貼り下さい

(広報)

う え だ と し お
植 田 寿 雄 B型 代表取締役
(株)インサイト 人材派遣業
〒683-0805 米子市西福原9-18-10 マンション福寿203
TEL 37-2867 FAX 37-2868
(KT) (EM)
〈自宅〉米子市西福原9-10-34 メイプルハウスB202
森田(雅) 〒683-0805 S.38.3.31 TEL 34-4241

(コメント)
1月に入会させていただくことになりました植田寿雄と申します。
証券業、人材派遣業と渡り歩き(その間、約1年某テント会社にて「仕事もするが口も出すカリスママルチバイター」としてSテントの社業発展に寄与)、昨年人材派遣会社を設立いたしました。
入会の動機は2つあり、地元の多様な業種で働く皆様のお話を参考にしたり、助言を受けながら、それを社業に活かし人材を通じて地域社会に貢献すること。もう1つは、青年中央会で刺激を受け、相当頑固な自分の性格を若干矯正させることです。
至らない点が多々あるとは思いますが、長くお付き合いをさせていただくことになりまので、ご指導の程よろしくお願ひいたします。

(総務)

く わ も と こ う い ち
桑 本 功 一 O型
(株)桑本賢一設計事務所 取締役
建設設計コンサルタント・環境コンサルタント
〒683-0002 米子市皆生6丁目1-25
TEL 34-5811 FAX 34-5812
(KT) (EM)
H12.01入会
(推薦者) 桑田(公) 山本(良)
〈自宅〉西伯郡名和町高田616
〒689-3224 S.48.12.20 TEL 54-5048

(コメント)
はじめまして。桑本功一と申します。
1月より中央会に入会させていただき、現在総務委員会に配属されています。経歴は、米子高等を卒業後、竹中工務店に入社、3年ほど設計部に在籍しました。その後、現在にいます。
休日が少なかつたせいもありますがあまり多趣味ではありません。スポーツなら大体好きです(どれも下手ですが)。
今後の中央会生活ですが、自分は知識欲が旺盛だと思っているので、すべての事を無駄にすることなく吸収していきたいと思ひます。
何かと不慣れなことも多くご迷惑をお掛けする場面も多いと思ひますが、よろしくお願ひします。